

令和5年9月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	9	勝 又 貞 夫	11日 (月)
2	19	桑 原 圭 美	
3	7	中 沢 道 夫	
4	4	目 黒 哲 也	
5	13	佐 藤 剛	
6	5	梅 沢 道 男	
7	8	永 井 拓 三	12日 (火)
8	2	川 辺 き の い	
9	11	塩 川 裕 紀	
10	10	吉 田 光 利	
11	12	清 塚 武 敏	
12	3	大 平 剛	13日 (水)
13	1	黒 岩 揺 光	
14	15	中 沢 一 博	
15	14	寺 口 友 彦	
16	6	田 中 せ つ 子	
計		16名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問 順位	質問 内 容
2	少子化対策につながる分娩体制の充実を
議席	
19	
桑 原 圭 美 (一問一答方式)	<p>県立十日町病院が来年度から分娩を休止すると発表し、十日町市同様に我が市の妊婦にも少なからず影響が懸念される。それは、十日町市の医療機関で出産する南魚沼市民が相当数に上るからである。</p> <p>地元や近隣で出産ができるということは住民にとって重要な環境であり、定住人口の増加につながる政策といえ、この部分のサービス低下がみられる地域は顕著な人口減少にある。</p> <p>人口減少による多くの課題がある中で、安心して出産、子育てができることがはじめの一步と考え、以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 県立十日町病院の分娩休止が我が市の妊婦にどのような影響があると想定しているか。</p> <p>(2) 十日町市の民間医療機関で出産する我が市の妊婦の割合が、30%程度である。当該医療機関の負担が増加することが予想されるが、この負担軽減に関して、自治体間で話し合い等はしているか。</p> <p>(3) 魚沼基幹病院の分娩体制の充実は住民にとって重要だが、現状で課題等は出ているか。</p> <p>(4) 医師確保は非常に難しい状況にあるが、何とかしなければならぬ。医師国家試験の合格者の約30%が女性であり、小児科医、産婦人科医の多くを女性が占めているが、出産を機に離職するケースが多い。女性医師の復職支援による医師確保策を検討すべきではないか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
3	1 渇水対策について
議席	今年の夏の高温と少雨は米作りに大きな影響があるが、今後も異常気象が予想される中で、根本的な対策を検討しているか。
7	
中 沢 道 夫 (複合型一問一答方式)	<p>2 カーボンニュートラルに向けた取組について</p> <p>(1) 区域施策編作成のための調査・分析予算を計上しているが、どのように活用していくのか。</p> <p>(2) 住宅の省エネは大きな削減効果を生むと思うが、独自の補助事業を行う考えはないか。</p> <p>(3) 確実に削減するためには、意欲的な数値目標と計画を作成すべきと考えるが。</p> <p>3 マイナンバーカードの保険証へのひもづけについて</p> <p>(1) 取得したマイナンバーカードに、国民健康保険と後期高齢者医療のひもづけはどこまで進んでいるのか。</p> <p>(2) 全国では様々なトラブルが報告されているが、当市で問題は発生していないか。</p> <p>(3) 来年秋の保険証廃止は少なくとも延期すべきと考えるが、国に求めていく考えはないか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
5	<p>1 市民のいのちと健康を守る医療体制のまちづくりを</p>
議 席	<p>(1) 医療資源縮小の中で在宅医療に何を求め、どう機能強化する のか。</p>
1 3	
佐 藤 剛	<p>(2) 電子カルテでの病院連携で、限られた医療資源の中でも効果 的・効率的な地域医療推進を。</p> <p>(3) 新健診施設でさらなる市民の健康増進と予防医療の充実を図 る必要がある。施設設置後のビジョンをどう描いているか。</p> <p>2 子供たちの将来に向けたまちづくりを</p> <p>(1) 要保護、準要保護者への就学援助の運用と活用、充実につい て ①就学援助制度の活用の周知、推進は十分か。 ②要保護、準要保護者の援助数はどうか。 ③準要保護の認定基準の見直しは必要ないか。</p> <p>(2) 多子世帯の学校給食費の負担軽減を。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
9	医療の効率化と患者の利便性向上の両立への取組は
議席	
11	
塩 川 裕 紀	<p>生産年齢人口の大幅な減少が予想される中、8月9日に厚生労働省が公表した医師偏在指標では、新潟県は全国ワースト3位で、その中でも魚沼医療圏域は県内最下位となっている。これらを背景に、医療の効率化は避けては通れない状況と捉えている。</p> <p>(1) 小児科、整形外科、眼科などの分野で、患者の需要に対する医師の数が足りず、受診に長時間待たされるケースが増えている。県内では、病院の閉院や診療科の閉鎖などのニュースを耳にすることが多いが、市立病院の医師確保の見通しについて市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 医師や医療スタッフの確保が難しくなる中で、医療の効率化が急務となっている。市長は市政におけるDX推進を方針に掲げている。市の医療におけるDXの推進は大変重要である。2つの市立病院と城内診療所の電子カルテを統一することで、医師の作業負担を減らし、同時に患者の利便性も向上させるべきと考え、市長の見解を伺う。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
15	1 新エネルギー源としてのもみ殻利用について
議席	もみ殻を新エネルギー源として有効活用し、脱炭素の取組の目玉とする考えはないか。
14	2 JR東日本新潟支社とゴールデンサイクルルート の共同活用について
寺	JRの自転車で観光スポットを巡るキャンペーンを継続的な取組にする意気込みは。
口	3 緊急事態発生時の広報について
友	緊急事態発生時の情報伝達を完全なものにする取組はどうか。
彦	4 新健診施設について
(一問一答方式)	37億円もの巨額を投じて健診施設を造ることに市民の同意をどう得ようとしているのか。

